

# 再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

<b>事業名</b> (下北半島縦貫道路) 一般国道279号 野辺地バイパス		<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 青森県										
<b>起終点</b> 自：青森県上北郡野辺地町有戸鳥井平 至：青森県上北郡野辺地町一ノ渡		<b>延長</b> 6.9 km											
<b>事業概要</b> 下北半島縦貫道路は、下北地方と青森・南部地方生活圏の連携強化を図る延長約60kmの地域高規格道路である。一般国道279号野辺地バイパスは、下北半島縦貫道路の一部を構成し、JR東北本線との立体交差を含む延長6.9kmの4車線（暫定2車線）道路である。													
<b>H7年度事業化</b>		S51年度都市計画決定 （H9年度変更）	H8年度用地着手 H8年度工事着手										
<b>全体事業費</b>		約153億円	<b>事業進捗率</b> 92%										
<b>計画交通量</b>		供用済延長 2.8 km											
<b>費用対効果分析結果</b>		計 2,400台/日											
<b>B/C</b> (事業全体) 2.2 (残事業) 10.9	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 18/183億円 事業費：12/173億円 維持管理費：6/10億円	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 197/400億円 走行時間短縮便益：170/347億円 走行費用減少便益：16/38億円 交通事故減少便益：11/15億円	<b>基準年</b> 平成16年										
<b>事業の効果等</b> ・都市の再生（青森県広域道路整備基本計画に位置づけられ、下北地方、青森地方、南部地方生活圏の連携が強化される。） ・個性ある地域の形成（むつ小川原開発計画、原子力発電所建設計画等のプロジェクトを支援する。） 他5項目に該当													
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 下北半島縦貫道路は、下北地域の産業・経済の発展、地域間交流の促進等が期待されており、むつ市をはじめとする関係13市町村の首長等で構成される下北半島縦貫道路整備促進期成同盟会により早期整備の要望（平成16年7月14日）を受けている。													
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> むつ小川原原子燃料サイクル施設のうち、再処理工場が平成17年の操業開始を予定しており、災害時における危機管理の観点からも、アクセスコントロールされた道路の必要性が高まっている。													
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 現在までに2.8kmを部分供用している。残る4.1kmについても、用地買収が完了し、一部改良工と舗装工を残すのみとなっており、平成17年度に全線供用予定である。													
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 共有地等により難航していた用地取得だが、平成14年に土地収用手続きを完了し、全線にわたり工事を進めてきた。平成17年度に全線供用予定である。													
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 町道との交差箇所において、アーチ型のプレキャストボックスを用いてコスト縮減を図っている。													
<b>対応方針</b>		事業継続											
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。													
<b>事業概要図</b>													
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> <tr> <td>■</td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td>■ ■ ■ ■</td> <td>事業中</td> </tr> <tr> <td>▨</td> <td>再評価箇所</td> </tr> <tr> <td>▨</td> <td>うち供用中</td> </tr> </table>				凡 例		■	供用中	■ ■ ■ ■	事業中	▨	再評価箇所	▨	うち供用中
凡 例													
■	供用中												
■ ■ ■ ■	事業中												
▨	再評価箇所												
▨	うち供用中												

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。